

YOKOHAMA SHIBAYAMA

平成28年度第2回企画展示

明治のクール・ジャパン 横浜芝山漆器の世界

◎金子皓彦コレクションを中心に◎

2016年7月22日[金]～10月23日[日]

- ◎【開館時間】 9時30分～17時(入館は16時30分まで) 水曜日は展示室のみ19時まで開館(入館は18時30分まで)
- ◎【休館日】 月曜日(ただし9月19日・10月10日は開館)、9月20日・10月11日
- ◎【入館料】 一般200円、小中学生100円(ただし10月9日[日]・10日[月・祝]は入館無料)

◎【主催】 横浜開港資料館 ◎【共催】 横浜市教育局 ◎【協力】 金子皓彦/宮崎輝生 ◎【後援】 横浜市経済局/朝日新聞横浜総局/神奈川新聞社/産経新聞横浜総局/東京新聞横浜支局/日本経済新聞横浜支局/毎日新聞横浜支局/読売新聞東京本社横浜支局/tvk



芸術文化振興基金

横浜開港資料館

Yokohama Archives of History

【旧英国総領事館】東急東横線・みなとみらい線「日本大通り」駅下車
〒231-0021 横浜市中区日本大通3 / TEL. 045-201-2100
【ホームページ】 <http://www.kaikou.city.yokohama.jp/>

◎安政6(1859)年に横浜が開港すると、この港から漆器・陶器・木製品などの工芸品が欧米諸国へ輸出されていきました。海外では精巧で優美な日本の工芸品が大変な人気を呼び、欧米諸国の人びとは工芸品に触れることによって日本の文化に強い関心を寄せました。横浜芝山漆器はそうしたもののひとつで、貝や象牙などを漆器の表面にはめ込み、花鳥人物を浮かび上がらせる芝山細工の技法を用いて、海外輸出向けの製品が大量に作られました。本展示では、日本の工芸品のコレクターとして著名な金子皓彦氏から貴重な資料をお借りし、横浜芝山漆器を中心に横浜から輸出された工芸品の数々を紹介します。

展 示 構 成

- 1 横浜開港と工芸品の輸出
- 2 横浜芝山漆器の源流
- 3 伝えられた巧みの技
- 4 横浜芝山漆器と横浜青貝細工
- 5 内国勸業博覧会と横浜の工芸品
- 6 輸出工芸品と着色写真アルバム



- 1 横浜芝山漆器 人物図チョコレート箱/明治時代 金子皓彦氏蔵
 - 2 芝山細工図案画/芝山和男氏蔵「下絵集」より
 - 3 芝山細工 豊年満作の図屏風/明治時代 金子皓彦氏蔵
 - 4 横浜芝山漆器 花鳥図台付引き出し(側面)/明治時代 金子皓彦氏蔵
 - 5 クーン・コムル商会の店内/横浜開港資料館蔵
- この商会は、19世紀末に山田居留地37番に開店し、日本の工芸品を販売した。

案内図



- 東急東横線・みなとみらい線「日本大通り」駅③番出口から徒歩2分
- JR「関内」駅南口・市営地下鉄「関内」駅下車徒歩15分
- JR「桜木町」駅から市営バス「日本大通り駅南口前」・「大さん橋」下車徒歩1分

■展示関連講座&対談「横浜芝山漆器の魅力」

【講座】講師：金子皓彦氏（日本輸出工芸研究会会長）
 【対談】宮崎輝生氏（横浜マイスター 芝山漆器工芸師）&金子皓彦氏
 【日時】10月16日【日】14:00～16:00
 【会場】横浜開港資料館 講堂【受講料】500円
 【募集人数】80名（応募者多数の場合は抽選）
 【申込み方法】往復はがきに、郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を記入の上、下記住所にお送り下さい。はがきは1枚につき1名様への申込みです。
 〒231-0021 横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館
 芝山漆器展 講座係
 お問い合わせ：045-201-2100【締切】9月30日【金】必着

■展示担当者による展示解説

- 8月31日【水】17:30より（当日は夜間開館で19:00まで開館）
 - 9月22日【木・祝】14:00より
- いずれも30分程度／事前申込み不要
 入館のうえ展示室入口に集合

■パネル展示「ハマに技あり〜横浜マイスター20周年記念〜」

横浜市経済局主催／横浜開港資料館共催
 横浜マイスター事業と創立からこれまでに選ばれた横浜マイスターを紹介します。
 【日時】10月12日【水】～10月23日【日】
 【場所】横浜開港資料館 旧館ホール
 ＊DVD同時上映「横浜の芝山漆器」（横浜市技能文化会館所蔵）

次回展示予告

宮内庁文書
 にみる横浜（仮称）

2016年10月28日【金】～2017年1月29日【日】